

## 第3回 奈良県動物愛護管理推進協議会 議事要旨

【日 時】平成28年7月13日（水） 14時00分～16時00分

【場 所】県中小企業会館 (1)会議室

【出席者】協議会委員 向井 務、伏見 誠、深田 展巧、向井 潤吾、櫻 眞嘉、  
矢冨 直樹、姫野 隆昭  
奈良県 事務局（奈良県くらし創造部消費・生活安全課）

### 【議事次第】

会長挨拶

議事

1. 動物愛護推進員の活動状況について（報告）
  - ・活動内容の傾向
  - ・個々の活動事例の紹介
2. 動物愛護推進員への活動支援について
  - ・推進員の相互連絡用名簿の配付について
  - ・ペットの防災啓発リーフレットについて
3. その他

【配付資料】 1. H27年度 奈良県動物愛護推進員活動実績報告  
2. ペットの防災啓発リーフレット（案）  
3. 備えよう！いつもいっしょにいたいから（環境省パンフレット）  
4. 災害時における動物救護活動の協力に関する協定書（写）  
5. 動物愛護管理推進協議会・動物愛護推進員スケジュール（案）

【議事要旨】 1. 動物愛護推進員の活動実績報告について（報告）

- ・活動内容の傾向
- ・個々の活動事例の紹介

2. 動物愛護推進員への活動支援について

3. その他

1. 動物愛護推進員の活動実績報告について（報告）

- ・活動内容の傾向  
資料1.（1ページ）に基づいて説明。
- ・個々の活動事例の紹介  
資料1.（2ページ）に基づいて説明。

2. 動物愛護推進員への活動支援について

- ・第2回会議で提案のあった意見への対応について（報告）  
意見①：推進員活動を円滑に進めるためには、推進員同士の横の連携が重要と考える。連携方法を提示してはどうか。  
意見②：ペットの防災について資料を作成し、推進員へ提供してはどうか。

対応①：各推進員にアンケートをとり、相互連絡用名簿を作成した。

H28年1月末に、各動物愛護推進員と県内保健所および動物愛護センターへ配付した。

個人情報を含むため、開示はしないものとした。

対応②：「ペットの災害対策リーフレット（案）」を事務局で作成した（資料2）。

- ・日々の活動に携行することを想定し、環境省のパンフレット（資料3）を参考に内容を絞り、コンパクトなA4版3つ折りサイズにした。
- ・5月17日に奈良県獣医師会・奈良市・奈良県の3者で災害時の動物救護活動に関する協力について協定を締結した（資料4）ことから、制作者欄に3者を列記した。

対応②への意見：リーフレット文面に「社会化」という言葉が使われている。

この言葉は環境省のパンフレットでも使われておらず、説明が難しい。

あえてリーフレットに使う必要はあるのか。

- ・今後の方針

「ペットの防災啓発リーフレット（案）」については、会議終了後に各委員より意見を求め、それに対する修正を加えた上で作成する。

リーフレット作成後は、各推進員へ配付するとともに、消費・生活安全課 HP に掲載するなど、広く利用してもらえよう呼びかけるものとする。

- ・今後のスケジュール（資料 5 に基づいて説明）

### 3. その他

- ・災害時における動物救護活動の協力に関する協定書について（資料 4）

平成 28 年 5 月 17 日に奈良県、奈良市、及び公益社団法人奈良県獣医師会の 3 者で、災害時における動物救護活動の協力に関する協定を結んだ。

奈良県： この協定により、災害時の動物救護に関して、県獣医師会の協力を迅速に得られるようになった。発災当初の混乱期、行政は人命優先で動物への対応が遅れる。これを乗り切るには獣医師会や民間団体の協力が欠かせない。

まずは発災に備え、日頃から減災への備え等の啓発に努めていく。防災訓練への参加等も考えている。

具体的な活動については今後 3 者で検討していくので、皆様のお力添えをお願いします。

奈良市： 災害時における動物の避難体制の構築が必要と考えている。市だけでこれを行うのは難しく、獣医師会の協力が必要。皆様と協力して具体的な方法を考えていきたい。

県獣医師会：日本はここ 20 年でいくつもの大きな災害を体験している。これらによる動物の救護活動に関しては、日本獣医師会の全国会議でも、大きな問題ととらえている。被災の教訓を生かし、多くの自治体は獣医師会と協定を結んでいる。奈良でも発災時の初動をいかに早くするかという点で話をしてきた。

協定を結んだ今、次の段階として、初動マニュアルの作成を考えたい。

- ・今後の対応

防災訓練等への参加について、具体的な話がまとまれば、各委員へ情報提供を行う。